

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」広島祇園校		
○保護者評価実施期間	2025年11月20日 ～ 2025年12月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数) 42
○従業者評価実施期間	2025年11月20日 ～ 2025年12月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	① こども一人ひとりを深く理解した個別支援	アセスメント・日々の観察・支援後の振り返りをもとに、個別支援計画を作成・見直し。保護者の意向も毎回のフィードバックや面談で反映している。	記録の質をさらに高め、行動の変化や小さな成長も可視化し、計画の根拠をより明確にする。
2	② 保護者との丁寧なコミュニケーションと信頼関係	毎回の支援後にフィードバックを実施し、こどもの様子や支援のねらいを共有。相談や申入れにも迅速に対応。	面談や情報提供の機会をさらに体系化し、より多様な相談ニーズに応えられる体制を整える。
3	③ 職員のチーム連携と専門性の高さ	ケース会議、打ち合わせ、研修を通じて支援の方向性を共有し、職員全体で支援を検討している。	研修内容の実践への反映や、支援の質向上につながった事例の共有を増やす。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	① 保護者同士の交流や家族支援の機会が少ない	個別支援中心の運営のため、保護者同士がつながる場を設ける場が少ない。	保護者会・お茶会など、参加しやすい形で交流や情報共有の場を検討する。
2	② 地域や園との交流機会が十分ではない	通所型の支援が中心で、地域活動や園交流の機会を持ちにくい。	保育所・園・地域行事との連携を少しずつ広げ、こどもが地域の中で活動する機会を作る。
3	③ 支援の見える化・情報発信のさらなる充実	SNS発信は行っているが、支援の成果や取組が十分に伝わりきっていない場合がある。	支援のねらいや成長の様子が伝わる発信・資料づくりを工夫する。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」広島祇園校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 48

回収数 42

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	2026年1月13日	38	4	0	0	施設全体がきちんと整理されていて清潔感を感じる	施設の整理整頓や清潔さについて高い評価をいただいております。今後も日々の清掃・点検を継続し、子どもが安心して過ごせる環境を維持します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	42	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	8	0	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	40	2	0	0	広々としており、清潔に保たれている	空間の使い方や構造化について、よりわかりやすい掲示やゾーニングの工夫を行い、子どもが見通しを持って活動できる環境づくりを進めます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	40	2	0	0	こどもの成長過程の段階がどこで、何をしていくか細かい説明がある	個々の発達段階に応じた支援について高く評価いただいています。今後もアセスメントと支援計画の見直しを定期的に行いより適切な支援につなげます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39	2	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	38	4	0	0	こどものことをとても理解してくれている	今後もアセスメントや日々の支援の振り返りを通して、こども一人ひとりの特性や変化を丁寧に把握、保護者のニーズも踏まえながらより適切な個別支援計画の作成と見直しに取り組んでまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	7	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	4	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	7	0	2	困りごとの相談をすると、すぐに支援に繋げ、こどもの好きなものを取り入れて感謝している	今後もアセスメントや日々の支援の振り返りを通して、こども一人ひとりの特性や変化を丁寧に把握し、保護者のニーズも踏まえながら支援を工夫してまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	15	6	9	11		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	42	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	38	2	0	2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	4	8	11	家族への支援として個別相談、情報提供をその都度してくれる	個別相談や情報提供は行っていますが資料提供の機会を増やし、家族支援をより充実させます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	40	2	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	2	5	6	相談した際に丁寧に助言をいただける	必要に応じて助言は行っていますが、相談の機会がより利用しやすいように改善します。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	42	0	0	0	毎支援、プログラムの活動内容を丁寧に教えてくれる	今後もこどもや保護者の思いに寄り添った共感的な関わりを大切にします。支援内容やねらいをわかりやすく共有することで、安心して通所していただけるよう努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	8	12	16		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	37	0	1	4	いつも迅速かつ、適切に対応していただいております、信頼している。	今後も子どもや保護者の声を大切に受け止め、相談しやすい体制を維持するとともに職員間で情報共有を行い安心して利用していただける支援体制の継続に努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	39	2	1	0	毎支援十分なフィードバックがあり、安心できる	今後も、子どもの様子や支援内容をわかりやすく伝えることを大切にします。保護者との情報共有を丁寧に行い、より信頼関係を深めていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	7	0	13		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	42	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35	0	0	7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	1	0	20		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	39	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38	0	0	4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	42	0	0	0	安心感があり、先生も好き	子どもが安心して楽しく通所できているとの評価を励みに、今後も一人ひとりに寄り添った支援を続けていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	40	0	0	2	毎支援、子どもが楽しみにしており、終わった際には楽しかったことを話してくれる	今後も、子どもが安心して楽しく参加できる活動を大切にしながら、一人ひとりの興味や成長に合わせた支援を続けてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	42	0	0	0	先生が熱心で子どもとしっかり向き合ってくれる	職員が子ども一人ひとりと丁寧に向き合っている点を大切にしながら、今後も専門性の向上と支援の質の維持・向上に努めてまいります。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「クラ・ゼミ」広島祇園校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	支援室をパーテーションで仕切り、無理のない支援スペースの確保をおこなっている。	今後利用児の特性や人数の変化に応じて、動線や活動スペースのレイアウトを見直し、安全で活動しやすい環境づくりを検討していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	基準人員以上の職員を配置し、不測の事態にも備えられるようにしている。	引き続き基準を満たす配置を維持するとともに、急な欠勤や緊急時にも対応できる体制づくりを進めていく。
	3	2026年1月13日	7	0	トイレや事務室など目で見て分かるように視覚化している。保護者へも伝わりやすい様に、お知らせなども視覚化している。	視覚支援や環境設定について、子どもの発達段階に応じてさらに改善できる点がないか定期的に見直ししていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	使用した玩具の消毒を毎日おこなっており、安心して遊べる様にしている。活動場所も、支援内容に合わせて広くとるなどしている。	清掃や消毒を継続しつつ、季節や活動内容に応じた環境調整をより丁寧に行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	落ち着かない時又は着替えの時などは、相談室が個室になっているので指導員と一緒に使用している。	より安心して使えるよう環境や利用方法の工夫を続けていく。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	校舎内で活用し、全員が触れることが出来る。	改善点をより具体的な行動計画に落とし込んでいく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価表の確認は全社員でおこなっており、頂いた意見を参考に話し合う機会を設けている。	いただいた意見を職員全体で共有し、改善結果を分かりやすく保護者へ伝える工夫を検討する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	終礼やMT、面談などで定期的に話を聞く機会を設けている。	意見が実際の業務改善につながった事例を共有し、職員の参画意識をさらに高めていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	第三者委員会をつけていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	会社全体での研修、エリア、ユニット単位での研修を定期的に計画している。	研修内容を日々の支援にどう活かしていくかを話す場を設け、学びの定着をしていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	作成をしており、保護者様としっかり話をすることを心掛けている。	より様々な視点で子どもを捉えられるよう、観察と記録の質を高めていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	事例検討、ケース会議をおこなっている	支援の方向性について職員間で意見交換する時間を、より計画的に確保する。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	共有し、常に閲覧できるようにしている。	職員全員が計画を活かした支援ができるように日々の振り返りと連動させていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	会社で統一されているアセスメントシートを活用している。	数値だけでなく行動の変化をより具体的に記録をしていき、分析する工夫を行う。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	関係機関連携支援見学など、具体的にしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	特にイベントや小集団はチーム全体でおこない、情報共有がしっかりとっている	新入社員も意見を出しやすい雰囲気づくりを進める。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	個別の支援、小集団の支援においてプログラムの固定化がないように、情報共有、MTをおこなっている	マンネリ化しないよう、定期的に新しい活動を取り入れていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	お子さんによっては、個別と集団を組み合わせながらの支援をしている。	子どもの変化に応じて、活動の見直しを柔軟に行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	小集団の支援では、特に内奥・役割分担について周知徹底している。	より具体的な支援目標を共有する工夫をしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	小集団の支援後に必ず振り返りをおこなっている。	良かった点だけでなく課題点も整理していき、次回支援に反映させる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援記録の記入を義務付けている。	記録の質と統一性を高める工夫を進める。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		見直しの根拠をより明確に残すように改善していく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	担当職員と児発管で参画している。	連携先との情報共有をより計画的・定期的に行える仕組みづくりを検討する。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	園や他事業所と連携を取っており、支援内容の共有をおこない、共通認識を持つようになっている	同上
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	支援内容や状況等の情報共有、共通認識。事業所で出来ることの役割の確認など、相互理解を含めながら支援に活かしている。	同上
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	スクールカウンセラーや小学校などと情報共有をおこなっている	同上
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答)			児童発達支援センターとの連携をとる機会が少ない。	児童発達支援センターとの連携機会を増やしていく。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	事業所として、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流をおこなう機会を持っていない。	地域のこどもと関わる機会を少しずつ増やせる方法を検討する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	支援終わりには毎回フィードバックをおこなっている。	今後も家庭と連携しながら共通理解を大切にした支援を行っていく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	事業所としては、家族の参加できる研修をおこなえていない。	情報提供の機会を今後検討していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に十分説明をしている。	今後も十分説明をしていく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	モニタリングや、相談援助の時間を設けている。	今後も一人ひとりの思いやニーズを大切にしたい児童発達支援計画の作成に努めていく。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	保護者へ説明し、サインを頂いている。	説明が一方通行にならないように説明をしている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	定期的に相談援助や支援終わりには毎回、フィードバックという形で時間を取り実施している。	相談しやすい雰囲気づくりを意識し、引き続き丁寧な対応を行う。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	保護者同士で交流する機会を定期的には設けていない。	保護者同士がつながれる機会づくりを今後検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	対応できる体制を整えている。	相談や意見を受けた際の対応手順について、職員間で再確認をしている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	SNSを活用し、定期的に発信をおこなっている。	今後もこどもや保護者が必要な情報を受け取れるように、内容や発信方法の工夫をしている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	鍵付きロッカーに保管している。	個人情報の管理について、職員の意識向上と体制の確認を継続する。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	言葉だけでなく目で見て分かるようにし、情報を伝えるようにしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	イベントを公共の施設を借りておこなうこともあり、どなたでも参加できるようにしている。	今後も地域とのつながりを大切にしながら、より開かれた事業運営となるよう工夫していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	行っている	マニュアルの内容を職員間で定期的に確認し、実践に活かせるようにする。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	行っている	訓練が形式的にならないよう、想定を変えながら今後も実施していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	面談時に必ず確認をしている。	今後も必ず確認していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	面談時に必ず聞くようにしている。 基本的には事業所での飲食はないが、普段の水分補給は持参して頂いている。	今後も必ず確認していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	必要な研修、訓練をおこなっている。	今後もその内容を日々の支援や緊急時対応に活かせるよう、職員間での共有や振り返りをし、安全管理体制の維持・向上に努めていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	契約時にお伝えしている。	今後もこどもの安全確保について理解を深めていただけるよう、必要に応じて丁寧な説明や情報提供を行っている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	毎月おこなっている。	共有した事例をもとに、具体的な再発防止策を検討し支援に活かしていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	会社で研修が定められている。	今後も職員が継続的に研修の内容を日々の支援に反映できるよう、事業所内で共有や振り返りを行っていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	契約時にしっかり話をおこない、理解を得ている。 支援計画への記載もあり。	今後も、こどもの権利と安全に十分配慮していく。